

# ボラセン通信

ボランティア活動や防災活動、福祉教育などさまざまな情報を発信します。

## 「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくり

特定非営利活動法人 F O R Y O U にこの家

東日本大震災以降、地域に暮らす人たちが協力して助け合う「共助」の大切さがクローズアップされています。「みんなで手をつなごう・支え合おう」の思いのもと、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに向け、県内・外で元気に活躍されている、「特定非営利活動法人 F O R Y O U にこの家」法人理事長の小岩孝子さんに、活動についてお話を伺いました。

### ほっとする、ホットな、ほっとけない思いが集まって

「東日本大震災直後は多くの方が児童館に集まって来ました。ここに来れば誰かがいてくれるから安心だろうと、地域の方は思ってたんですけど、いたみたいで」と話す小岩さん。

平成10年、仙台市の東中田地区で思いを同じくする地域の福祉施設や市民グループ、民生委員など、さまざまな団体が手を組み、地域に根ざした福祉ネットワーク「ほっとネット in 東中田」が誕生しました。「災害時に備え、避難マップ作りや、名前や病歴、緊急連絡先を記入する身分証『ほっとカード』作りをしていました。また避難所運営のシミュレーションを行ったり、人に優しいまちづくりに関する講演会などを行ってきました。震災直後、多くの方が児童館に集まって来たこと



▲児童クラブの子供たちとにこの家利用者さんが、お好み焼きでランチ交流会

名前や病歴、緊急連絡先を記入する身分証『ほっとカード』作りをしていました。また避難所運営のシミュレーションを行ったり、人に優しいまちづくりに関する講演会などを行ってきました。震災直後、多くの方が児童館に集まって来たこと

### 笑顔未来につなげる

現在、小岩さんは震災の体験を活かし、未来に向けて何ができるかを提起するため、全国各地で講演しています。また、子供も大人もみんなが笑顔になれるよう、遊びのイベントやワークショップの開催など、多くの活動を行いながら、たくさんの方の「輪」をつくっています。顔の見える関係づくりは信頼や安心につながり、「共助」の土台になっていくでしょう。

「にこの家としては、今だけではなく、これからも、みんなが安心して暮らせるまちにする活動をしていきたいです。」将来を見据える小岩さんの笑顔は、とても輝いて見えました。

特定非営利活動法人 F O R Y O U にこの家  
〒981-1110  
仙台市太白区四郎丸神明16-12  
TEL: FAX 022(241)0858



▲にこの家代表の小岩孝子さん 誕生会で子供達と記念撮影

## キラリ☆ 仕事人

取得した資格は何ですか？  
ホームヘルパー2級です。

今のお仕事をされて何年目ですか？  
ぶらぶらに勤務して一年半になりました。東日本大震災が発生する直前の平成23年3月から勤務しています。

どのようなお仕事をされているのですか？  
この家は「通い」(通所介護)、「泊まり」(短期入所)、「訪問」(訪問介護)を組み合わせてサービスを提供している多機能型の事業所です。ご利用になっている方の入浴や食事などの身の回りの介護をはじめ、地域住民の方との交流や利用者様に楽しんでいただくことを目的とした事業所内のレクリエーションの企画などの業務もしています。

いまのお仕事に就いたきっかけや転職を教えたください。  
高校生のころから福祉の仕事に就きたいと思っていましたが、そのころは諦めてしまいました。その後、やはり福祉に関係する仕事をしたかと思いき、働きたいからホームヘルパー2級を取得しました。

やりがいを感じる瞬間は？  
ご利用いただいた方から感謝される



小規模多機能型居宅介護支援施設ぶらぶらと(石巻市)で働く近藤満さんを紹介。

大変だと感じる瞬間は？  
たまにです。

さまざまな病気の方がいるため、中にはコミュニケーションをとるのが難しい方もいます。そのような方の想いを汲みとることができないときには、難しいと感じることもあります。でも、それが可能となるように、カンファレンスなどを行って、その方に合ったケアと環境づくりを行うようになっています。

心がけていますか？  
日々の暮らしから、ご利用いただいている方が、何を想い、何を伝えたいのかを汲みとりたいと考えています。その想いを希望されるケアにつなげていけるようにするよう心がけています。

これから同じ資格を目指す方に一言！  
福祉の現場はキツイ仕事だと思われがちですが、人生の先輩である利用者様たちと向き合える、楽しくてやりがいのある仕事です。

## 相談 Q&A

宮城県福祉人材センター (福祉人材無料職業紹介所)

「福祉の仕事がしたい方」と「職員を採用したい」事業所などへの情報提供やさまざまな相談を受け付けています。また福祉の職場説明会・ガイダンス・移動相談会・各種講習会を開催しています。窓口相談の中から事例を紹介いたします。

資格がなくても福祉の仕事はできますか？  
A 資格がなくても働くことは可能です。福祉の仕事内容にはさまざまな職種・分野があります。職種によっては福祉の資格を求められる場合もありますが、資格が不問の求人もあります。また仕事をしながら資格を取得する方法もあります。

ホームヘルパー2級の資格がなくなると聞きましたが本当ですか？  
A 既に取得されたホームヘルパー2級の資格はなくなりません。ヘルパー2級養成講座は平成24年度で廃止になります。来年度以降取得される場合は、現在のヘルパー2級が初任者研修に移行位置付けとなります。(平成24年9月現在)

遠方のため、人材センターに行けない場合はどうしたらよいのでしょうか？  
A 求人情報収集及び応募については、

このコーナーでは、宮城県社会福祉協議会がお受けするさまざまな相談を取り上げ、Q&Aで紹介いたします。



インターネット「福祉のお仕事」をご利用ください。  
また福祉全般の相談については、県内ハローワーク9カ所(気仙沼・築館・迫・古川・大和・石巻・塩釜・大河原・白石)にキャリア支援専門員が移動相談に出掛けていますので、日程を確認のうえご参加ください。

宮城県福祉人材センター  
利用時間  
9時～17時(月曜・金曜・第3土曜日)  
休日 土曜・日曜・祝祭日・年末年始  
問い合わせ先  
〒980-0014  
仙台市青葉区本町3丁目7-4  
宮城県社会福祉会館1階  
TEL 022(262)9777  
FAX 022(261)9555  
URL <http://www.hkushi-work.jp/>



### 宮城県内の福祉施設・介護事業者向けの総合補償制度

## 宮城県地域福祉総合補償制度をご利用下さい

- ポイント1** 社会福祉協議会の会員である社会福祉施設、介護サービス事業者が加入できます。
- ポイント2** 地元宮城県で加入手続き・事故対応・その他アフターフォローを行いますので安心です。
- ポイント3** 団体制度のため、有利な団体割引が適用されています。(一部適用外)

この不明の点はお問合せください!



お問合せ みやぎボランティア総合センター TEL022(222)0010  
三井住友海上火災保険株式会社 TEL022(221)3171  
(株)オンワード・マエノ TEL022(286)6118

※この制度の各補償は宮城県社会福祉協議会が保険会社と締結した保険約款により行います。